

# 投資を通じて環境保全や地域経済を応援

ESG投資

温室効果ガス削減

地域活性化

徳島合同証券 株式会社

代表者：代表取締役社長 泊 健一  
所在地：徳島県徳島市中通町3-5-1  
設立：昭和28年2月5日  
従業員数：24名  
事業：金融商品取引業

## ○事業・活動の概要

平成23年に、社員全員でペーパーレス化を実行した。1か月間で7トンあった書籍や書類等を半分の3.5トンまで減らした結果、年間700万円のコスト削減につながり、業績も向上したため、「環境に良いことは経済合理性がある」ということを実感するに至った。

平成29年4月に徳島県と「とくしまエコパートナー協定」を締結し、県と連携して、「カーボン・オフセットに関するキャンペーン」、「カーボン・オフセットを活用したクラウドファンディングによる環境活動の資金調達支援」等の活動を通じて、徳島の森林保護、温室効果ガスの削減活動等を行っている。

## ○地元を応援する徳島発クラウドファンディング

平成26年10月に、内閣府等が関係する国の施策で、地方創生等の地域活性化に資する先進的な取組をしている地方公共団体や地域金融機関等を構成員として、「ふるさと投資」連絡会議が設立された。同社は証券会社として唯一、構成員になっており、東日本大震災からの復旧・復興事業に関するクラウドファンディングを活用した様々な事例を見聞きしたことから、クラウドファンディングが地域の優良な小規模事業者を応援できる手段であると考え、徳島県内の団体や事業者のために、平成29年3月にカーボン・オフセットを取り入れたクラウドファンディングのポータルサイト「徳島合同証券KUUKAI+」を開設した。農家民宿を始めるための古民家の修繕費や、徳島の酒蔵による地酒の増産・増強プロジェクトなどの案件が登録され、目標金額が達成されている。

このウェブサイトに登録されているプロジェクトが成立すると、1案件につき2,000kg-CO<sub>2</sub>のクレジットをオフセットする仕組みである。また、同社での金融商品取引1件当たりでは、2kg-CO<sub>2</sub>のクレジットをオフセットしており、昨年度は、合計96,000kg-CO<sub>2</sub>のクレジットをオフセットした。

公表日：平成30年10月22日 取材：平成30年7月  
外部リンク：<http://www.tg-sec.co.jp/index.html>

## ○すだちくん未来の地球条例

平成27年12月にCOP21において採択された「今世紀後半に温室効果ガス排出の実質ゼロ」を目指す温暖化対策の枠組み「パリ協定」を踏まえ、徳島県では平成28年10月に「徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例(愛称:すだちくん未来の地球条例)」が制定された。2030年度に温室効果ガス排出量を2013年度比40%(排出抑制26.4%、吸収量13.6%)削減することを目標としている。これは国の削減目標26%を上回る数字である。

同社は、特定非営利活動法人徳島県域カーボン・オフセット推進ネットワーク(愛称もりまも.club)に参加しており、県内企業や経済団体に、カーボン・オフセットの実施を呼び掛けている。また、森林所有者だけでは整備が困難な森林を支える「とくしま協働の森づくり事業」にも協賛するなど、徳島の森の保全・整備に取り組むことで、温室効果ガス削減に貢献したいと考えている。

## ○ESG投資と今後の目標

ESGとは、環境(Environment)・社会(Social)・企業統治(Governance)の頭文字を並べたもので、ESG投資とは、環境問題や社会貢献などに力を入れている企業を選んで投資をすることである。同社は、「企業は環境に配慮した経営をしなければならないし、消費者も環境に配慮した商品を選んで買うようにならないといけない。ESGの理念がしっかりしている企業を選んで投資し、その結果、利益が出たら、カーボン・オフセットのクラウドファンディングに投資して、さらに資金を循環させていきたい」と考えている。

また、「2012年のロンドンオリンピックのとき、一気にフェアトレードの認知度が広がったように、東京オリンピックが開催される2020年までを機に、エシカル消費やESG投資の考え方は、特に注目される」と考えている。そこで、企業には、環境にも経済的にも有益なお金の使い方があるということを伝え、消費者には、将来実現させたい社会のために、なくてはならない企業の製品を消費したり、投資することの大切さを、積極的に周知していくために、県や経済団体が主催するシンポジウム等での講演や、レギュラー出演しているローカル放送のラジオ番組などの媒体を利用していく予定である。

